

令和3年度調査研究委員会 アンケート調査結果報告 －Ver.1－

2022.6.10

千葉県介護支援専門員協議会
調査研究委員会

はじめに

新緑から深緑の季節に変わり、早々と梅雨入りが宣言されました。

国内では新型コロナウイルス感染症と対峙し2年以上が経過し「オミクロン株」による第6波が緩やかではありますが収束しています。

加えて、4回目のワクチン接種も高齢者を中心に始まり、様々な制限が緩和されつつあります。

このような状況の中、ご利用者、ご家族に寄り添い、奔走され、日々お忙しい中にも関わらず本アンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

皆様から回答いただいた結果を委員会で集計・考察させていただきましたので、ここにご報告させていただきます。

特定非営利活動法人 千葉県介護支援専門員協議会 調査研究委員会
2022.6.10

令和3年度 アンケート調査の概要 ー周知・依頼文ー

1.調査内容：コロナ禍での認知症高齢者等（以下「認知症の方」）の心身、生活等の変化を
令和2年1月と令和4年1月で比較する

2.回答対象：千葉県介護支援専門員協議会 会員（正会員及び準会員）のうち、
今回は以下①②の両方に該当する方をお願いいたします。

- ①現に介護支援専門員として業務している方
- ②同一の認知症の方を令和2年1月から令和4年1月まで2年間継続してご担当されている方

※1「認知症の方」とは、令和2年1月時点で認知症の診断を受けている方とします。

※2 複数対象者がおられる方は、最もご自身が気になる方1名を対象としてください。

※3 上記①②に該当しない場合は今回のアンケート回答は不要です。

3.調査(回答)方法：当会広報誌に調査票を同封 回答はWeb（FAX 回答も可とする）

4.調査(回答)期間：令和4年1月25日（火）～令和4年2月20日（日）

5.集計結果公表日：令和4年3月下旬、当会ホームページ掲載・次号広報誌に掲載予定

6.回答いただくにあたって

■迅速な集計のため、回答は①QR コード（又は②URL）からお願いいたします（難しい場合は③回答用紙からのFAXでも構いません）。

■回答された内容（個人情報等）は本調査の目的にのみ使用し、使用後は適切な管理のもと処理いたします。回答は統計的に処理されるため、個人を特定するものではありません。

令和3年度調査研究事業 「コロナ禍による認知症高齢者の生活変化の概況調査」 ーケアマネジャーの視点からー

平素より当協議会へ格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

国内では令和3年10月、新型コロナウイルス感染症 第5波による「緊急事態宣言」が解除され、基本的な感染対策は継続しながらも少しずつではありますが人々の生活場面への規制が緩和されつつあります。ワクチン接種率も向上し医療機関や介護保険施設の面会制限等も徐々に緩和されるようになりました。

しかし、1年半以上にのぼる制約の中、要介護高齢者にとっては、生活様式の変容を余儀なくされ、他者との接触機会の減少・外出機会の減少・介護状況の変化等により、様々な影響が出現していると推察されます。とりわけ認知症を有する高齢者にとっては、その影響は看過できないと思われます。このような状況の中においても、日々ご利用者・ご家族に寄り添い支援の要として奔走されている皆様に心より敬意と感謝を申し上げます。

この度当会では、現場の最前線でご尽力されている会員の皆様に、新型コロナウイルス感染症が拡大する前と、コロナ禍の期間で認知症高齢者の心身、生活等にどのような影響が生じているのか、介護支援専門員の視点でお答えをいただきたいと思います。皆様から寄せられた貴重な情報を共有し、今後、第6波の感染拡大が懸念される中において、同じように現場で奔走している介護支援専門員への支援の一助にさせていただければと考えます。

時節柄大変お忙しいとは思いますが、一人でも多くの皆様からの“生の声”を集めたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

(2021.12月)

グーグルフォームでの回答

83件

FAXでの回答

22件

回答数計 105件

あなたについてお聞きします。

Q1.あなたの主な活動地域を教えてください。

市町村名（ ）

Q2.ケアマネジャーとしての就業年数。

① 1～3年 ②4～6年 ③7～10年 ④10年以上

Q3.あなたの職域はどちらですか。

① 居宅 ②施設 ③その他（ ）

Q4.利用者本人に対するサービス利用の変更はありましたか。

① 大いにあった ②あった ③あまりない ④ない

※①から③と答えた方、その具体的な内容について記載してください。

事業者側からの変更（ ）

利用者側からの変更（ ）

Q5.担当ケアマネジャーとして利用者の状態に変化があったと思いますか

① 改善した ②悪化した ③変化は見られない

※①または②と答えた方、具体的な変化について記載してください。

中核症状について（ ）

周辺症状（BPSD）について（ ）

日常生活動作（ADL）について（ ）

手段的日常生活動作(IADL)について（ ）

その他（ ）

Q6.ケアマネジャーとして Q5 の変化はどのようなことが原因と考えますか。

（ ）

Q7.介護者等の生活に変化や影響がありましたか。

（「介護者」の範囲は問いません。キーパーソン、主介護者、家族・・・etc）

① 大いにあった ②あった ③あまりない ④ない

※①または②と答えた方、具体的な内容について記載してください。

（ ）

その他、上記の設問以外でご意見がありましたらお聞かせください。

（ ）

今後、取り上げて欲しいテーマ等がございましたらお聞かせください。

（ ）

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。

回答は令和4年2月20日(日)までをお願いいたします。

設問項目 Q1～Q7

Q1.あなたの主な活動地域を教えてください。市町村名（ ）

Q2.ケアマネジャーとしての就業年数。① 1～3年 ②4～6年 ③7～10年 ④10年以上

Q3.あなたの職域はどちらですか。① 居宅 ②施設 ③その他（ ）

Q4.利用者本人に対するサービス利用の変更はありましたか。① 大いにあった ②あった ③あまりない ④ない

※①から③と答えた方、その具体的な内容について記載してください。

事業者側からの変更（ ） 利用者側からの変更（ ）

Q5.担当ケアマネジャーとして利用者の状態に変化があったと思いますか ① 改善した ②悪化した ③変化は見られない

※①または②と答えた方、具体的な変化について記載してください。

中核症状について（ ） 周辺症状（BPSD）について（ ）

日常生活動作（ADL）について（ ） 手段的日常生活動作(IADL)について（ ） その他（ ）

Q6.ケアマネジャーとしてQ5 の変化はどのようなことが原因と考えますか。（ ）

Q7.介護者等の生活に変化や影響がありましたか。① 大いにあった ②あった ③あまりない ④ない

（「介護者」の範囲は問いません。キーパーソン、主介護者、家族・・・etc）

※①または②と答えた方、具体的な内容について記載してください。（ ）

その他、上記の設問以外でご意見がありましたらお聞かせください。（ ）

今後、取り上げて欲しいテーマ等がございましたらお聞かせください。（ ）

集計結果の分析・報告

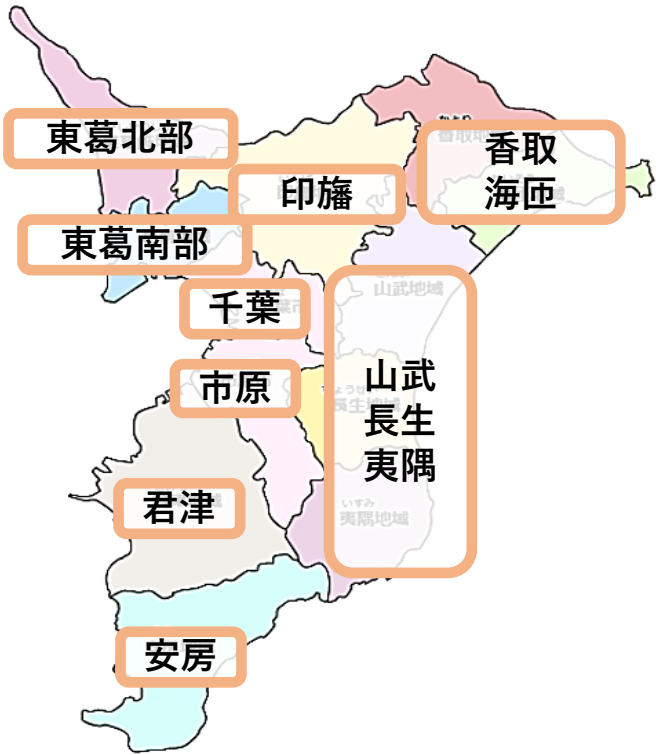
認知症の症状**悪化**に関する記述を中心に分析した内容

※皆様の声をそのままお伝えするためできる限り原文のまま掲載しています

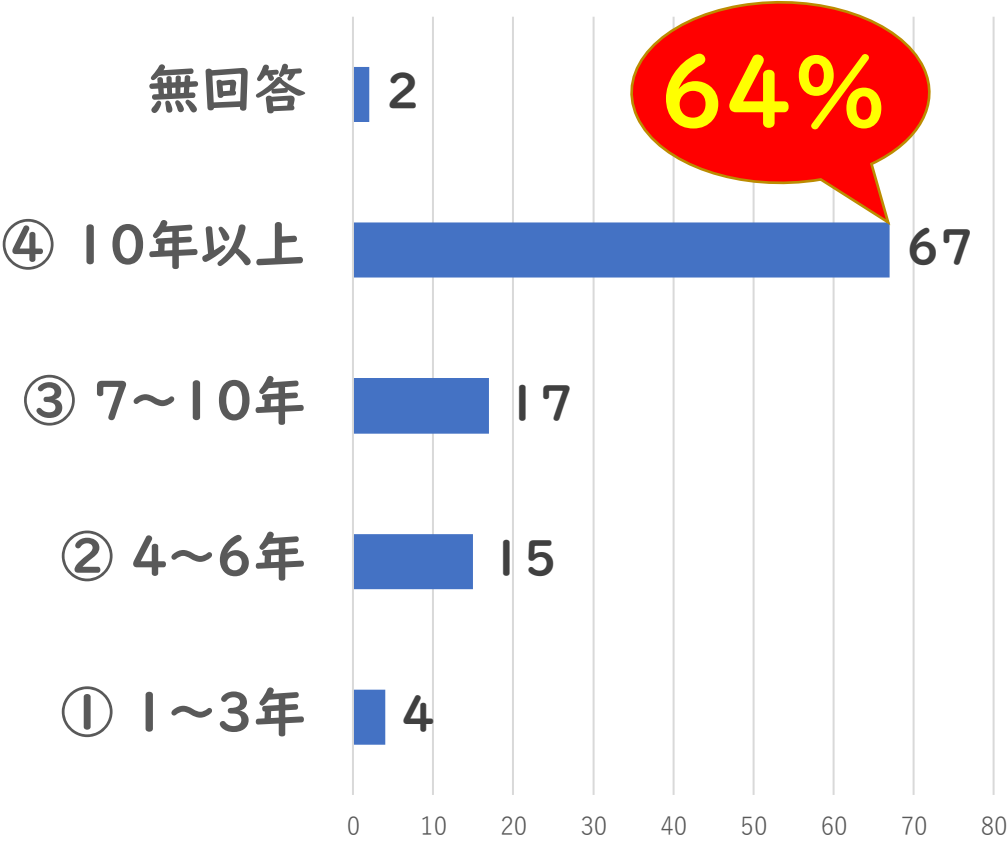
Q1 主に活動している地域

圏域	圏域別回答者数
安房	10
市原	6
印旛	11
香取海匝	8
君津	13
山武長生夷隅	6
千葉	19
東葛南部	16
東葛北部	14
不明	2

N=105



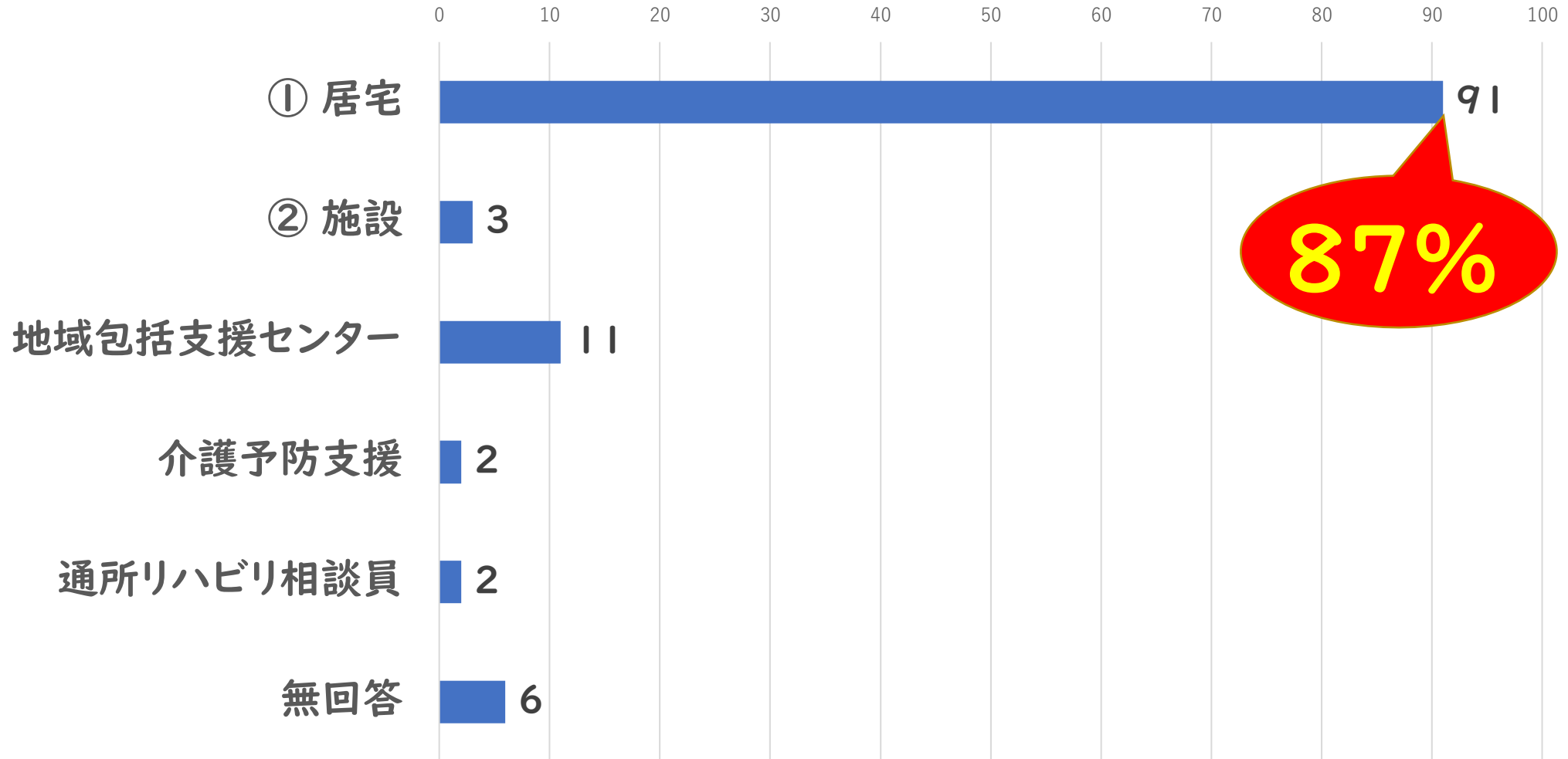
Q2 ケアマネジャーとしての就業年数



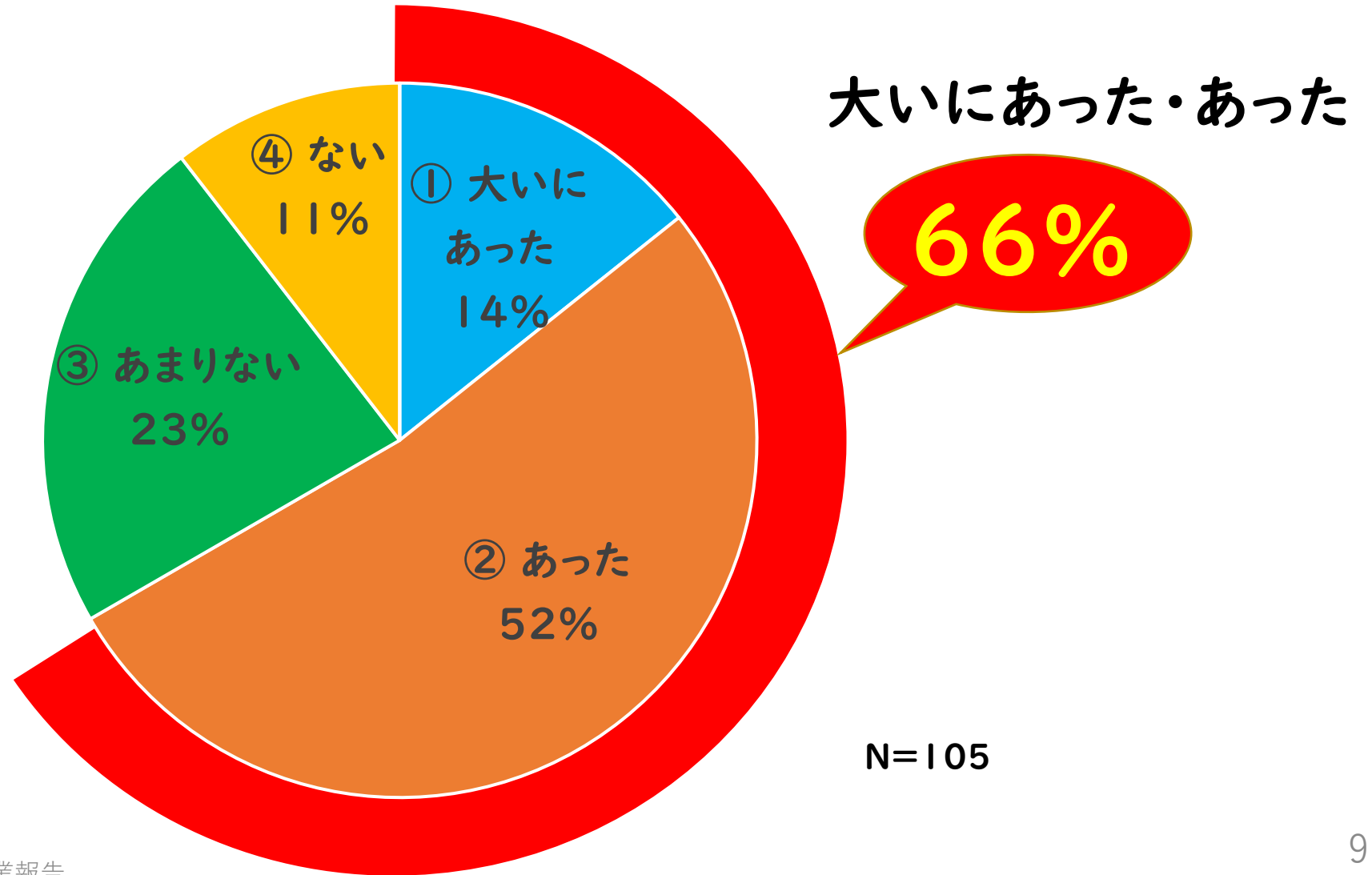
N=105

Q3 所属する職域

複数回答

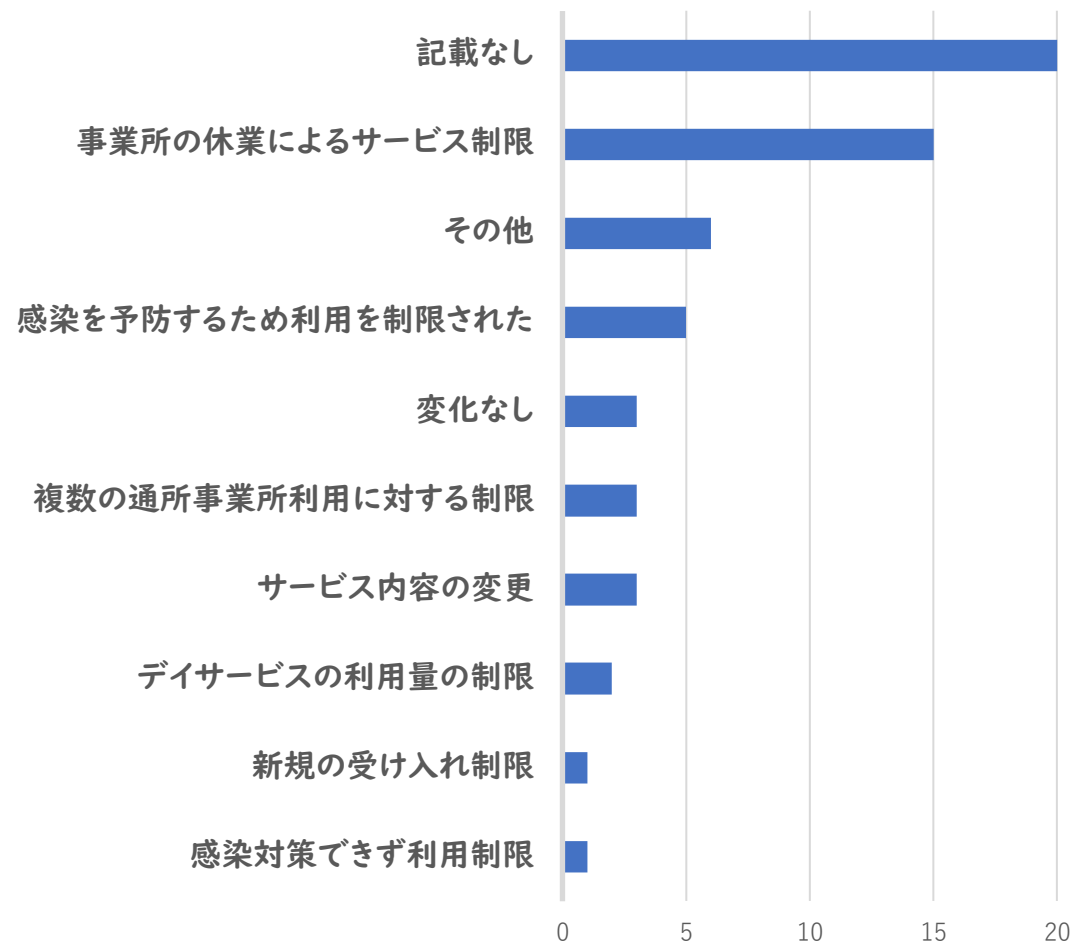


Q4 利用者本人に対する サービス利用の変更はありましたか

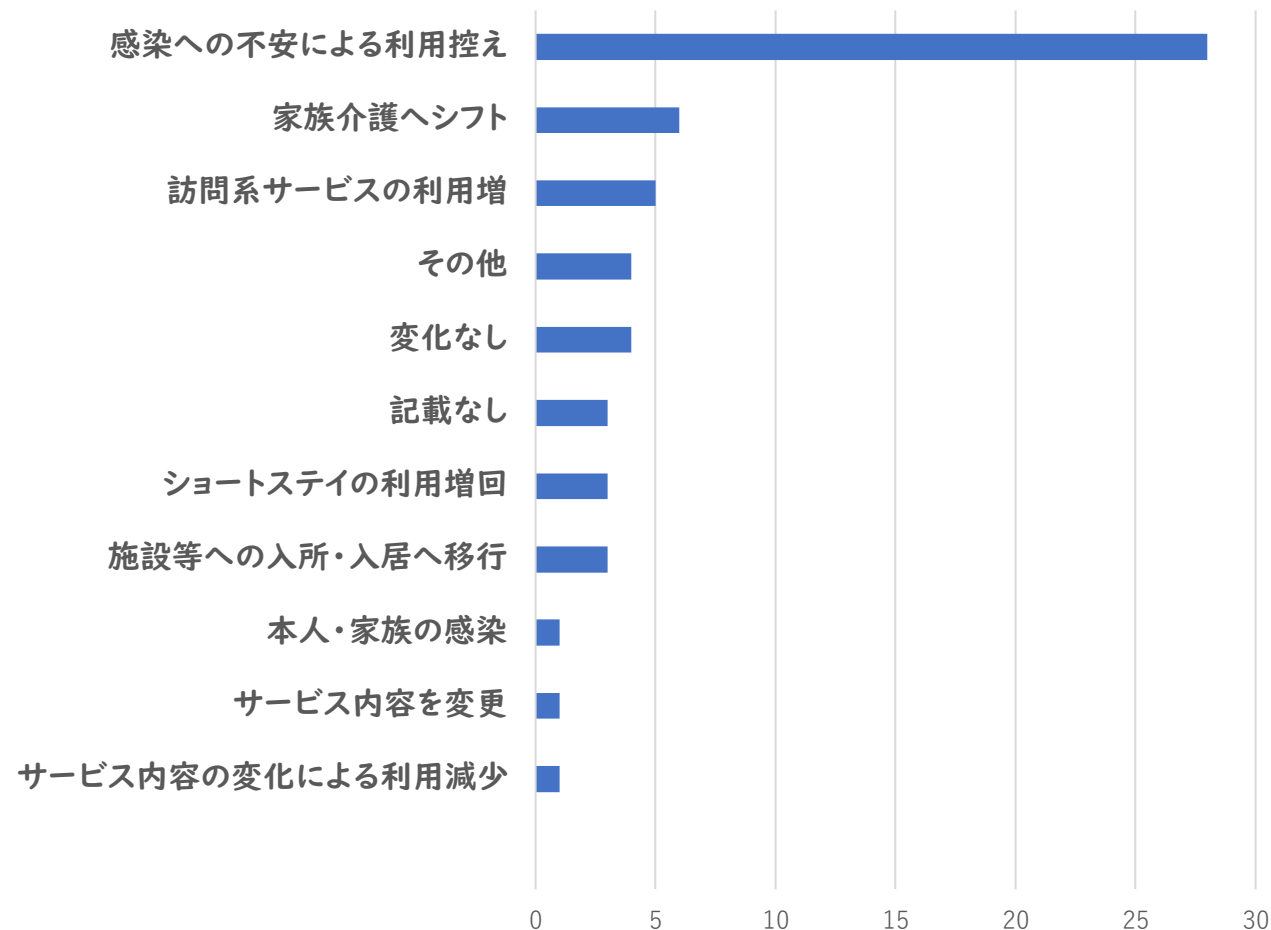


Q4 変更の具体的な内容 –自由回答より分類–

事業所側の変化



利用者側の変化



※記載内容によっては複数項目に分類

事業所から

サービスの制限や変更等を行った回答数が **15** であったことに対し、
利用者の事情により

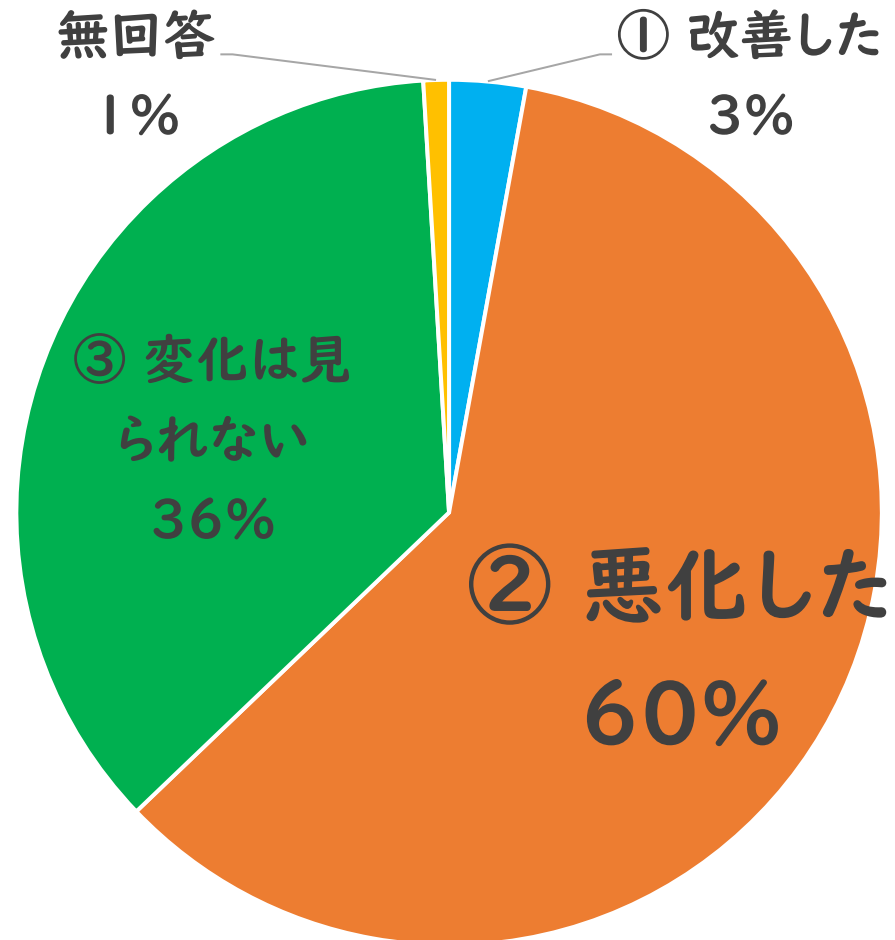
サービス利用を制限した回答数は **25** に上った。

特にデイサービスやデイケアなどの集団でのサービス利用を 利用控え していた。
理由として、感染予防が最も多かった。利用者本人及び同居家族への感染予防を懸念したことが多く記述されていた。

また、家族等の介護者が在宅勤務等に変更となり 自宅での介護が可能 となったことなども利用を控える要因となった。

一方事業所は、クラスターの発生などにより 休業 となったため利用に制限が生じた事例も散見された。

Q5 担当ケアマネジャーとして 利用者に変化があったと思うか



N=105

コロナ下での利用者の状態像については、

悪化したと回答したケアマネジャーが回答数の60%を超えていた。

変化はないと回答したケアマネジャーは36%であった。

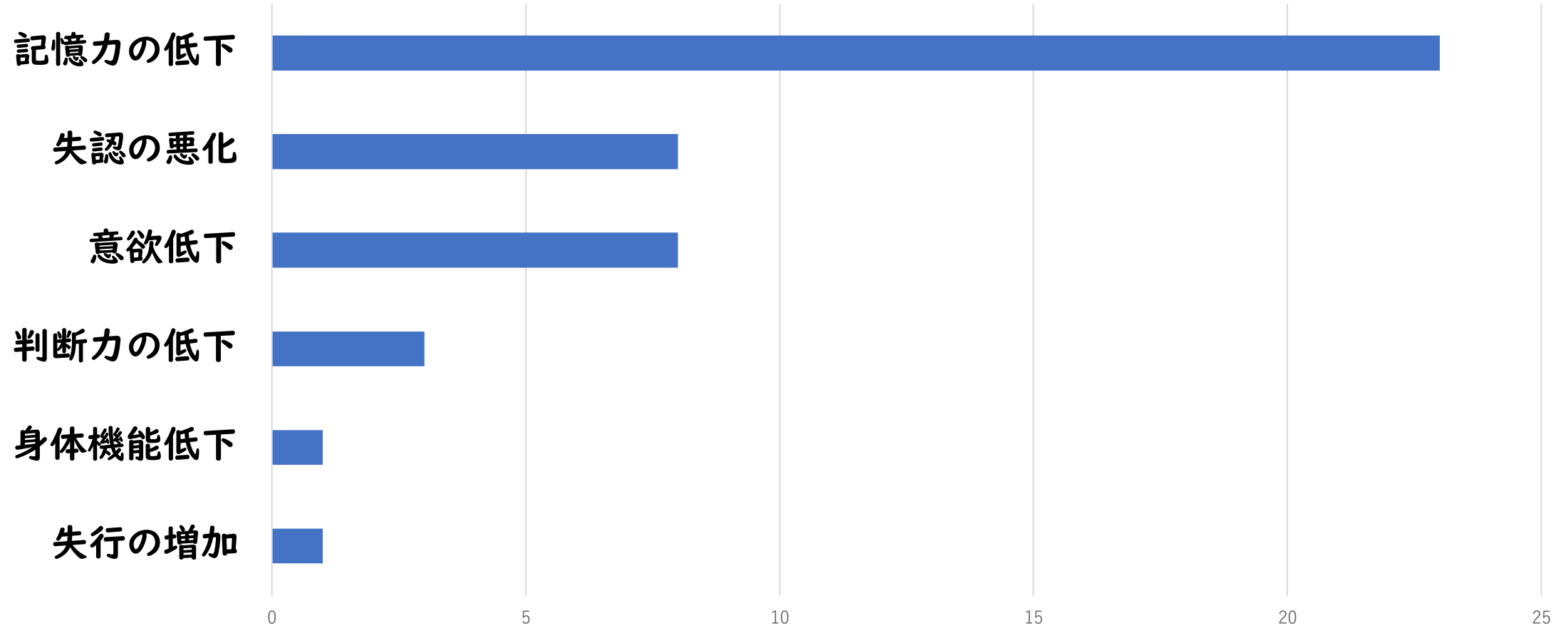
一方、改善したと回答したケアマネジャーは3%弱であった。

回答したケアマネジャーの多くは、利用者の認知症について症状が
悪化したととらえている。

Q5 利用者の状態変化

—悪化した症状 **中核症状** 記述—

複数回答



悪化したと回答のあった**44件**より抽出 ※記載内容によっては複数項目に分類

中核症状として、記憶力低下の症状悪化を感じたケアマネジャーが多数を占めた。

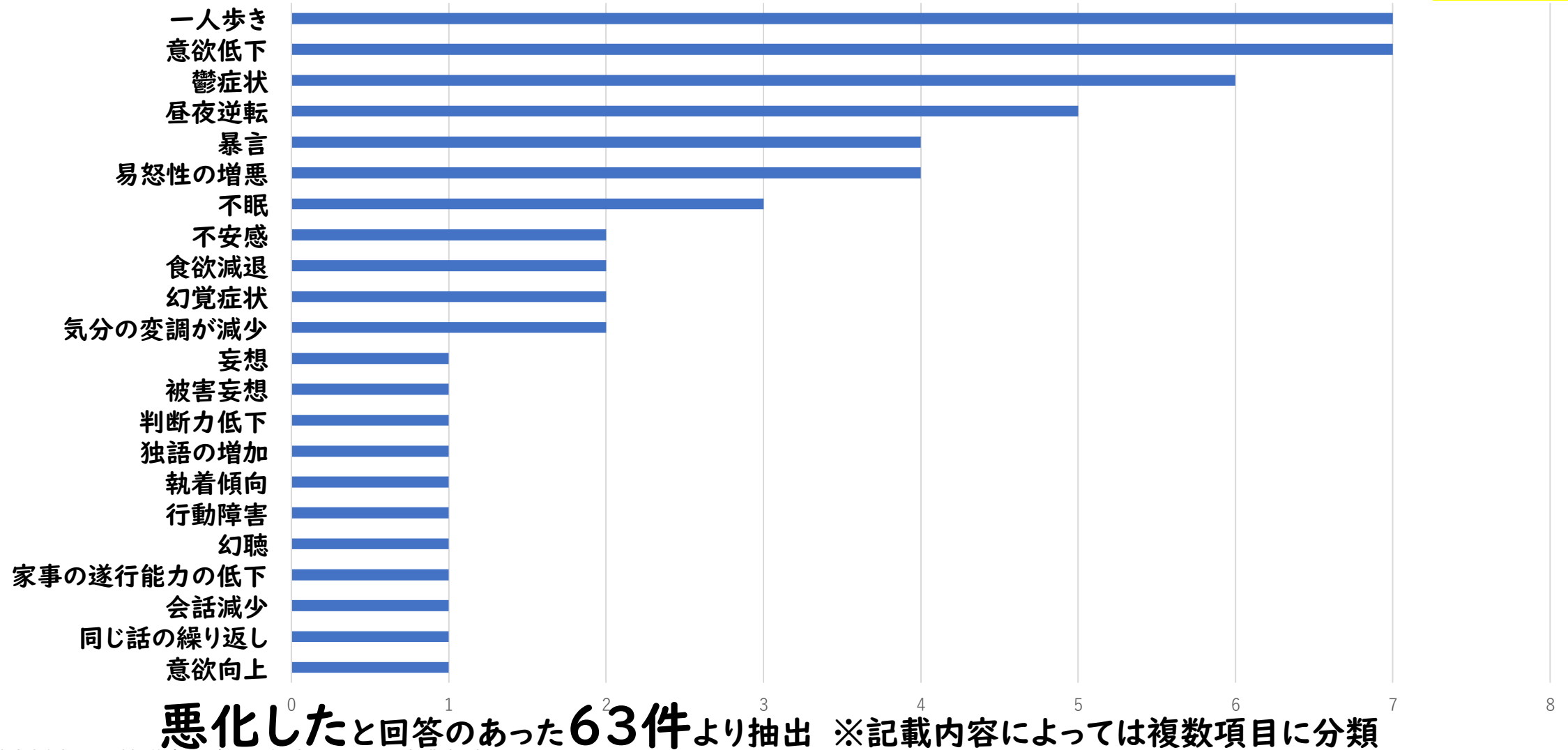
「物忘れの進行」や「物忘れが増えた」という記述から記憶力低下を感じるケアマネジャーが多かった。

また、「家族の顔が認識できなくなった」「日にちや曜日が分からなくなった」など失認が悪化したという記述も多かった。

Q5 利用者の状態変化

—悪化した症状 周辺記述 (BPSD) 記述—

複数回答



周辺症状 (BPSD)については、悪化した症状や状態は多岐にわたった。

特に、一人歩き（徘徊）及び意欲低下と回答したケアマネジャーが多く、
独り歩きでは夜間の一人歩きが増えたと回答したケアマネジャーが多かった。
次いでうつ症状や昼夜逆転に関する回答が多かった。
また易怒性が高くなったり暴言が増えたなどの回答が多くあった。

「独語の増加、昼夜逆転、衣類を切り刻む等」

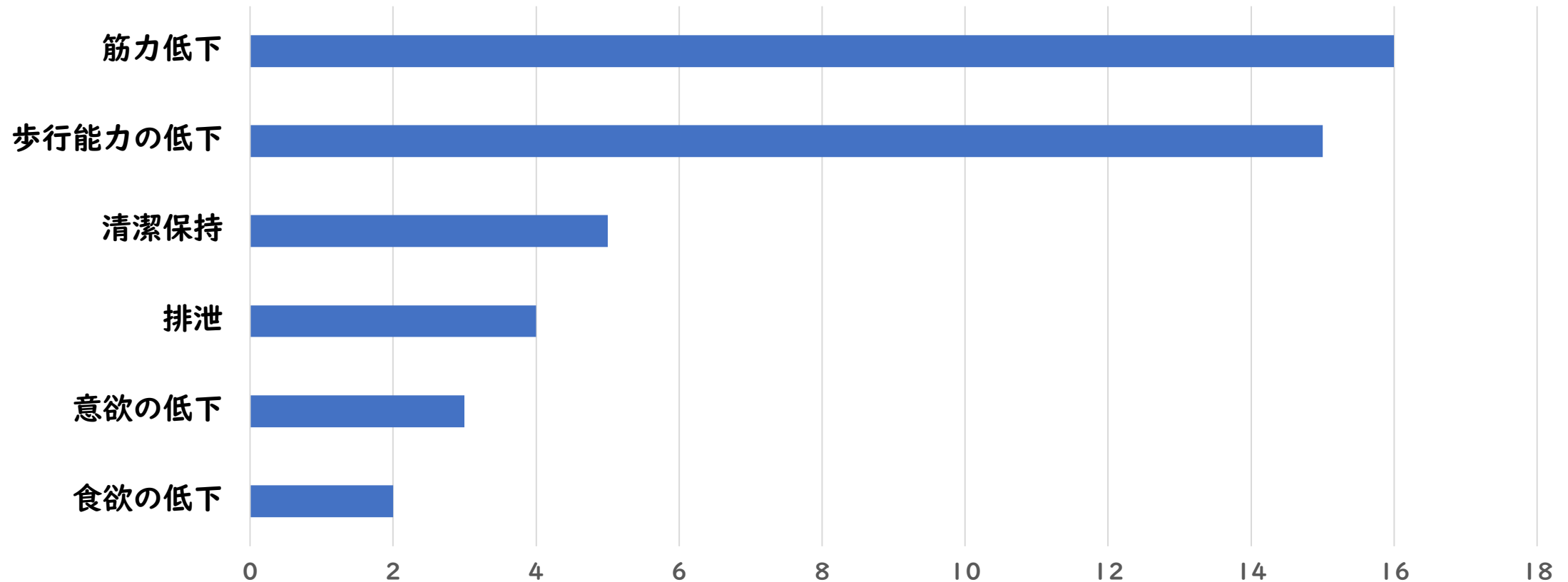
「混乱による周辺協力者への過度な電話や徘徊傾向、幻視、幻聴など」

といった回答があり、複数の行動障害が顕著になったと回答が多かった。

Q5 利用者の状態変化

－悪化した症状 **ADL** 記述－

複数回答



悪化したと回答のあった45件より抽出 ※記載内容によっては複数項目に分類

ADLについては、筋力低下の回答数が多く、次いで歩行能力低下が多かった。

「四肢の筋力低下」

「ペットボトルが自力で開けられなくなった」

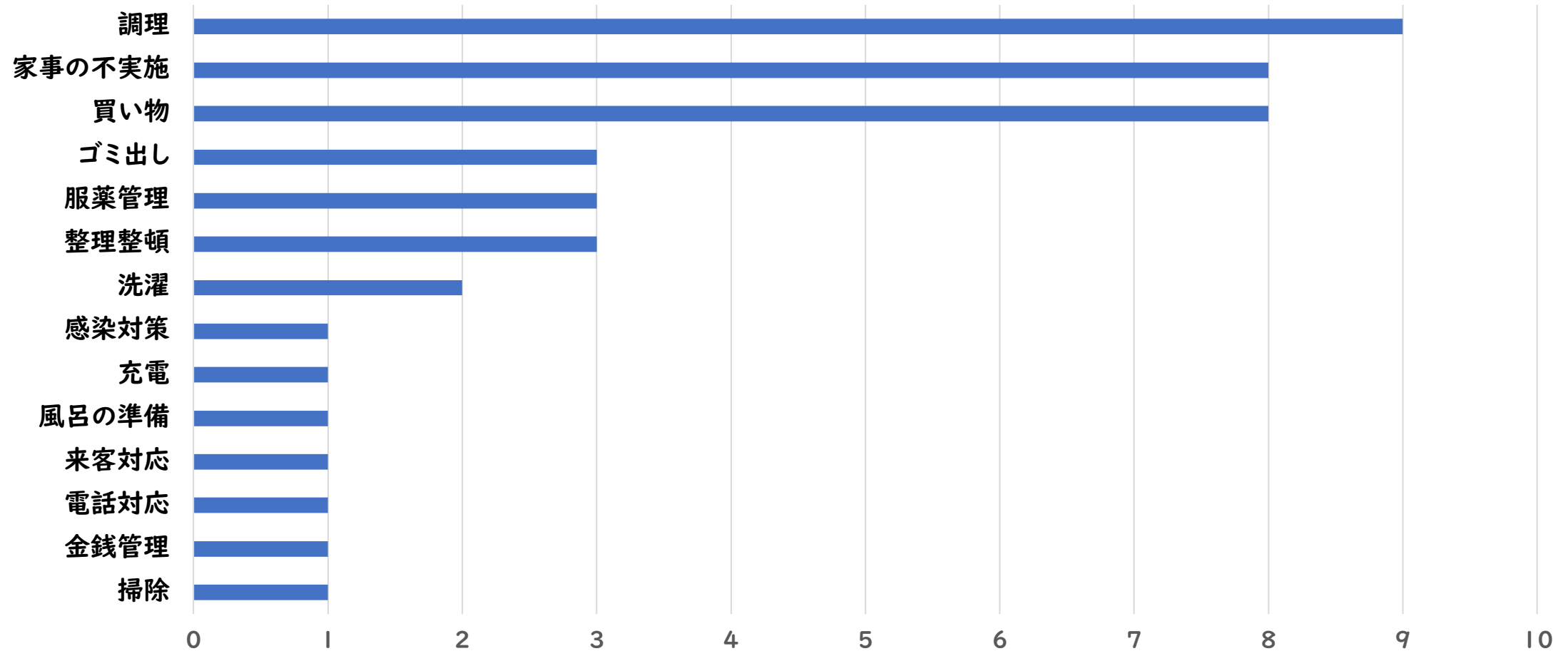
「歩行状態悪化、転倒あり、夜間おむつになった」

など筋力低下によって日常生活に影響していると指摘する回答が多かった。

Q5 利用者の状態変化

－悪化した症状 **IADL** 記述－

複数回答



悪化したと回答のあった43件より抽出 ※記載内容によっては複数項目に分類

IADLでは調理や買いものができなくなったという回答が多かった。
また、家事全般を行わなくなったという回答が多かった。

「買い物等できていた事が困難となる」

「調理や掃除、ゴミ出しが適切にできなくなった」

「洗濯機の回し方や洗剤の投与量が分からなくなった」

「お風呂の沸かし方やシャワーの使い方が分からなくなった」

「ガスコンロの消し忘れによる鍋焦がし」

など日常生活の遂行が困難になったと回答したケアマネジャーが多かった。

Q5 利用者の状態変化 – その他 記述 –

※皆様の声をそのままお伝えするためできる限り原文のまま掲載しています

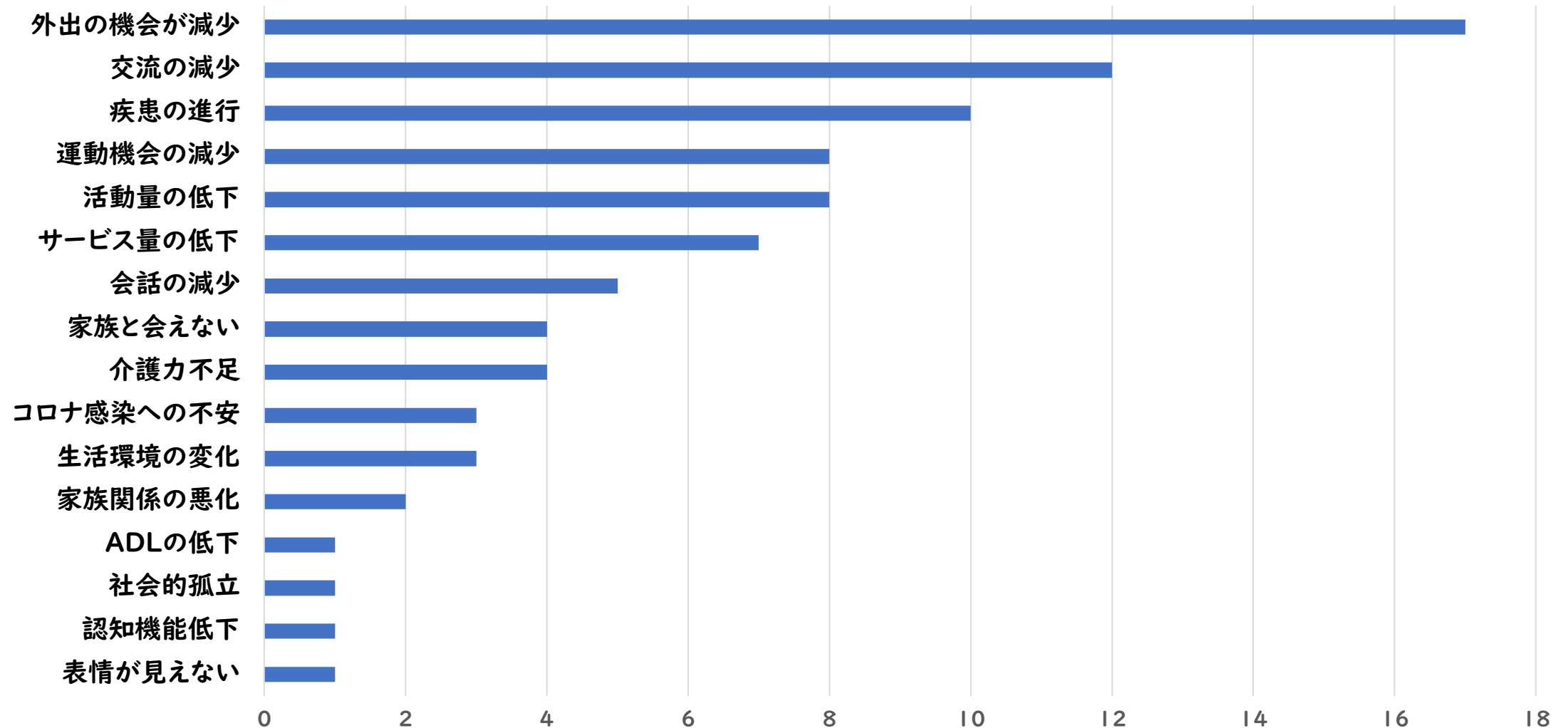
- 高齢者は(様々人生経験があったので)何があっても動じない強さがある事も感じた
- 足が弱り、買い物に行けなくなった
- 薬へのこだわりが強くなった
- 家族が県外のためコロナ禍で接触するとデイサービスが暫く利用出来なくなるなどの制限あり、ほぼ面会出来ず近くの甥に頼っているため、甥の負担感がある
- 外出するディ利用が、日常生活の活力をあげていたが、人に会う機会がすくなくなったので、活性化しなかった
- 家族が介護を諦め施設を探し始めた。家族関係の悪化
- ストマの管理ができなくなったこと
- テレビを見て不安を訴える

Q5 利用者の状態変化 – その他(つづき) 記述 –

※皆様の声をそのままお伝えするためできる限り原文のまま掲載しています

- 精神的に不安感が増加
- デイの自粛をしたことで、もの忘れの進行、歩行能力の低下する方が多くいた。支援から介護になる人が多かった。認知症の進行に伴い家族が対応困難に陥るケースが増えた
- 感染者やその家族にとっては、精神的不安も大きかった
- 不活発な状態
- がんの進行、尿路感染のくり返し
- 家族がコロナ感染を恐れてサービス増は望まないため、また金銭的な余裕もなく、使える支援がなかった
- 独居生活継続が困難
- コロナを理由に閉じこもる本人に家族が賛同し、または家族が本人の外出を阻止する傾向があった

Q6 ケアマネジャーから見た悪化の要因



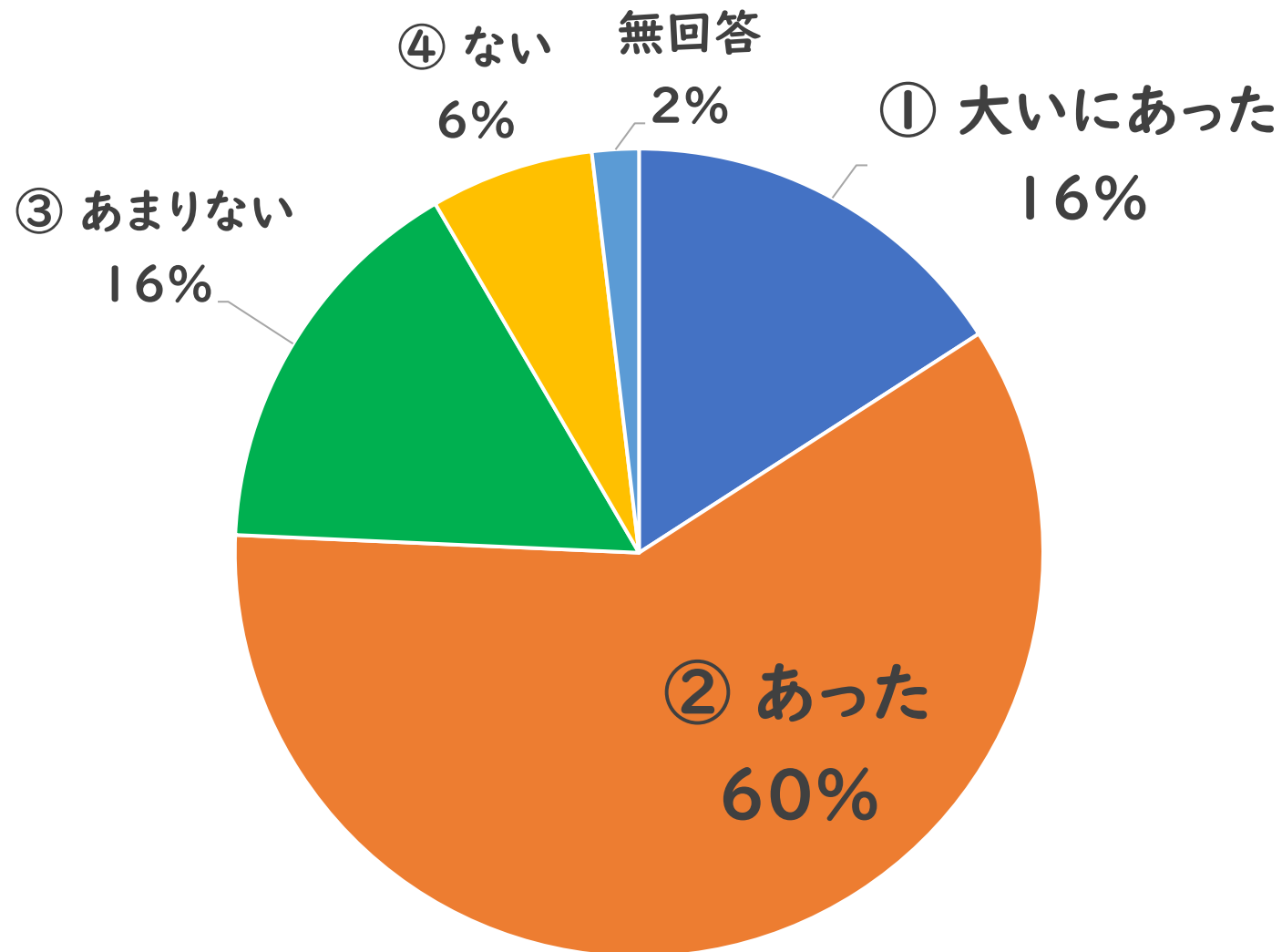
悪化したと回答のあった**63件**より抽出 ※記載内容によっては複数項目に分類

Q5の認知症の症状悪化の要因について、外出の機会が減少したことをあげるケアマネジャーが多数だった。

加えて交流の機会の減少や運動の機会の減少など、外出制限や外出の自粛に起因する要因を挙げる回答が目立った。

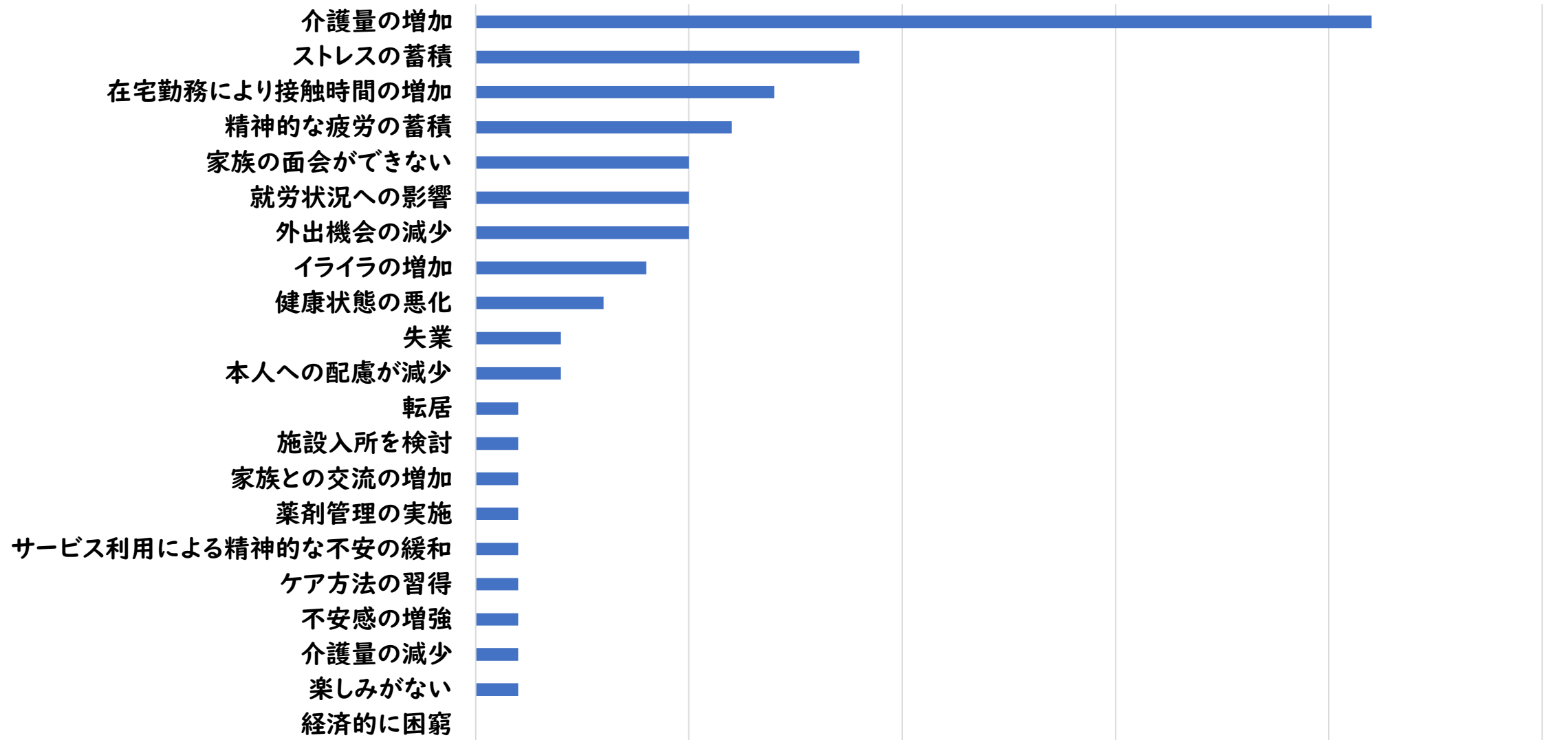
さらに疾患の進行によるものも要因として考えるケアマネジャーが多かった。

Q7 介護者等の生活に変化や影響はあったか



N=105

Q7 介護者等の生活変化 —家族の変化—



変化があったと回答のあった80件より抽出 ※記載内容によっては複数項目に分類

その他 ー設問以外でのご意見ー

※皆様の声をそのままお伝えするためできる限り原文のまま掲載しています

- 閉じこもり生活が続き、認知症が表面化したり、進行した人は多いと思います
- 認知症の方はマスクを継続して装着する事が困難なため、特にデイサービスなどでは利用を敬遠されました。利用されたとしても、一人だけかけ離れた所に座らされており、家族も迷惑をかけているという気持ちになっていたようです
- コロナ感染した事で自宅での介護が出来ない対処方法
- 地域包括支援センターを中心とした地域情報の共有システム化が望ましい
- コロナ禍で家族の訪問が減り、外出回数が減少して他者との交流も減った事で物忘れが多くなったと話があった
- 地域のボランティアや民生委員の動きはかんじられない
- 目まぐるしい状況変化による計画変更の連続、連絡、調整に追われた。今も続いている
- 居宅介護支援事業所で働くケアマネジャーが担当している利用者が、地域資源（サロンや体操などの活動の場）をどの程度利用しているか？コロナ禍によって利用控えがどの程度あり、影響があったのかを知りたいです
- コロナ感染の濃厚接触者になった時の対応に苦慮した
- 認知症で一人暮らしで家族がいない方へのワクチン接種についての対応方法とコロナウイルス感染疑いのある人への検査等の付き添いをどうしているかについてお聞きしたい

その他 ―設問以外でのご意見(つづき)―

※皆様の声をそのままお伝えするためできる限り原文のまま掲載しています

- 同じようなアンケートを介護家族にもとって欲しい
- 回答欄にもう少し細かな選択肢から選べるようにしていただけると良かったです
- 認知症の方はマスク装着ができず困った
- コロナ感染等に関する地域情報の整理と情報共有のシステム作りが必要ではないでしょうか？
- 感染者への対応が不安である
- コロナでサービス事業所、CMも身動きが取れないことも多々ある。事業所でも理解のないところは、「自費で抗原検査実施後でないと利用させません」というところも6波では出ている(病院内デイケア)。今度、介護保険外の自己負担までしてサービス継続をさせていくことが必要なのか、どうなのかと考えてしまう
- ここ最近、相談のあるケースの9割は認知症の診断があるなど実感してます
- 普段支援者任せだった遠方に住む子が、ワクチン接種の事で、子が予約支援するなどインターネットで出来る支援が増えたと思う
- いつでも状況で訪問出来るコロナ前の環境はとても大切であったと実感しました。人と人との繋がり是对面が必要。早く自由に訪問したい

結 果

認知症高齢者に関して

コロナの影響により、多くのケアマネジャーは認知症の症状が悪化したととらえていた。

1：サービス利用を制限することによって

①環境の変化 ②外出の制限 ③交流の機会の減少

があったために、筋力低下を引き起こし、自立を阻害する要因となった。

2：介護環境が変化することによって

①ストレスの増強 ②意欲低下 につながら、

BPSDの増強やIADLの能力低下の要因および介護者のストレス要因の増強となった。

考 察

- 1: 認知症を有する高齢者にとって、介護保険サービスの利用控えは症状を悪化させる要因となる。特に通所系サービスの利用は認知症高齢者の症状悪化予防に有用なサービスであると考えられる。
- 2: 家族等の介護者の介護量の増加は、ストレスの蓄積が多く、却って認知症高齢者の症状悪化の要因となることが示唆された。
- 3: 一方、認知症高齢者の症状について家族等の介護者が把握する時間を有することによって適切な治療や支援につながる。

課 題

本研究調査では、ケアマネジャー主観的な意見を確認できた。

現場で感じる認知症利用者へのケアマネジメントでの変化について明らかにすることができたが、客観的なデータとの関連性について調査できていない。
今後、利用者の状態の客観的データと照らし合わせる必要がある。

これまでに経験したことのない、厳しい感染対策によって認知症高齢者や家族・介護者が受けた影響は多大である。

認知症を発症している高齢者が、いかなる状況であっても必要なケアを継続して受けられるような仕組みを構築することが必要である。

謝 辞

ありがとう
ございました

アンケート実施から結果の報告までに時間が掛かり大変申し訳ございませんでした。

今回いただいた貴重なご意見を認知症対策に関わる方々とも情報共有、提供をさせていただき、今後に活かしていきたいと思います。

今回の調査研究にあたり、ご回答いただきました会員の皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともご協力いただけますよう心からお願い申し上げます

